２０２０年度　近江ちいろば会の事業報告

1. 主な取り組み

①法人設立 25 周年

1995 年の創業以来、25 年周年を迎え、「ピスガからの風」記念号の発行、ケアハウスのロビーに法人の歴史パネルの掲示を行った。

②新型コロナウィルス感染予防対策の徹底

1 年間を通して法人、各事業所では新型コロナウィルス感染予防対策の徹底を図った。職員全員の日々の検温、手洗い、手指消毒の実施、マスク、フェイスシールドの着用、事務所内での職員の密を避けるための分室化や事務所、食堂、会議室、応接室等のテーブルにはパーテーションの設置、さらには体調不良職員には看護師による抗原検査を行った。また、各事業所では出入り者の検温、手指消毒の徹底、面談の自粛を願うことも行い、感染予防に万全を期した。一方で、入居者様のご家族との面談自粛により孤立されることの対策としてオンライン面会を定期的に実施した。こうした取り組みにより職員が発症することは免れ、事業運営に支障をきたすことはなかった。

また、滋賀県からの「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金」を活用して、衛生資材倉庫の設置、衛生資材の備蓄、飛沫防止パネル、換気設備、オート水洗への切り替え工事等を実施し、感染防止施策の充実を図れた。

③ICT の導入

訪問系事業所や通所介護事業所、グループホームでは職員の事務業務の効率化を図るシステム(Care　Pallete)を導入し記録、請求業務の効率化に取り組んだ。また、グループホームでは「眠り SCAN」を導入し、入居者様の安心安全な生活と職員の負担軽減に繋がっている。

④地域貢献(利用者支援)活動

・認知症型デイサービスで、ご利用者様自らが内職作業を行う事で、その方の役割と就労、報酬を受け取る喜びを実感頂く就労支援活動に取り組んだ。

・湖南市民生委員児童委員協議会高齢者福祉部会研修会にて、「地域を支える総合的介護サービスの現状」と題して介護保険を取り巻く環境や地域包括ケアの仕組み、「ふれあいの家おしどり」の取り組み内容について説明させていただいた。

・ひとり歩き発見保護訓練(菩提寺まちづくり協議会主催)に当法人の「認知症相談員」が参加(法人として 6 年連続)し、菩提寺地区の住民の方々と認知症啓発活動に取り組んだ。

⑤人材育成・研修

・管理者研修及び主任研修を開催し、榊原　宏昌氏による「意見が合わない場合の対話、リスクマネジメント/課題解決」と題してコミュニケーションの重要性やハラスメントへの対応策などについて学びの機会となった。

・法人として「ノーリフティングケア」の推進のためキックオフ大会を開催した。職員全員が「持ち上げない、抱え上げない、引きずらない」をコンセプトにしたケアへの取り組みの重要性を共有できた。

⑥外国人雇用

・2 年前から介護福祉養成学校に通学し、アルバイトにて就労していた外国人留学生 2 名が、無事卒業することができ、次年度からはフルタイムにて勤務することとなる。2 年間で夜勤も務め入居者･職員にも信頼されるスタッフにまで育った。

⑦設備投資

・デイケアの家おしどりでは、利用者様が安心安全に乗降できるように駐車場の改修、ゆめとまの家おしどりでは、職員の福利厚生の一環として休憩室の新設、ぼだいじデイサービスセンターいこいでは、利用者様の増加に伴いスペースの確保と感染予防の観点から増設工事を各々実施した。

・また、みなくちみんなの家では経年劣化により外壁塗装や樋などが損傷してきていることから甲賀市からの補助金を頂き、改修工事を実施した。

各事業所からの報告

1)法人本部

・新型コロナウィルス感染予防対策として補助金を活用し、法人並びに各事業所の感染予防のための衛生用品の備蓄、飛沫防止パネルの増設、換気設備等ハード面の拡充が図れた。また、ソフト面では、新型コロナウィルス発生時のＢＣＰの策定や入居者のオンライン面会の運用をサポートした。

・新卒採用では、短大、専門卒の 2 名を採用することができた。

・安全運転講習会の定期的な開催により、公用車による事故が減少し、保険料も大幅に減額することができた。

2)ケアハウス「ピスガこうせい」

・1 年間、満室(50 人)を達成できた。

・玄関先や 2 階通路などを整備し、入居者が蜜を避けながら読書などに親しんで頂ける居場所づくりができた。

3)ぼだいじデイサービスセンター虹

・選択プログラムとして、焼き鳥、喫茶、買い物プログラムなど利用者に好評で定着できた。

・スライディングボード・シートの活用に加えて、「車いす体重計」の導入により職員の身体的負担の軽減が図れた。

4)ぼだいじデイサービスセンターいこい

・静養室が増設となり、密が避けられるとともに個別対応の利用者も不穏にならない環境が整備された。

・連絡ノートに写真を入れ込むことでご家族にデイサービスでの様子が良くわかると好評であった。

5)中央デイサービスセンターしんあい

・認知症の症状別に個性が発揮できる取り組みを実践した。

・対外的に湖南市あんしん相談員活動に取り組むことができ、営業面でも奏功し、利用者増に結び付けることができた。

6)ぼだいじ居宅介護支援センター

・体制維持が図れたことで、特定事業所加算Ⅱの算定要件を満たし、経営の安定につながった。

・様々なケースの依頼に対して職員間で情報共有が図れ、迅速に対応できた。

7)ぼだいじホームヘルパーステーション

・全職員にスマホを導入しケアパレットによる記録の効率化や職員間連携も図れた。

・利用者数(延べ人数)において月間平均 1200 件を超え、過去最高を記録できた。

8)グループホームぼだいじ

・新型コロナウィルス感染を予防対策として、入居者とご家族様とのオンライ面談を定期的に実施できた。

9)小規模多機能居宅介護事業所ぼだいじみんなの家

・地域の民生委員からの依頼を受け、小規模多機能についての説明会を開催し、地域との交流が図れた。

・職員間のコミュニケーションを活発にするとともに、独自の職員教育プログラムに沿って育成が図れた。

10)グループホームみなくちみんなの家

・新型コロナウィルス感染予防対策を全職員が協力して行う事ができた。そのために、短時間職員も日勤業務を担って頂けることとなり体制強化が図れた。

11)デイサービスセンターみなくちみんなの家

・年間を通じて、目標である 1 日あたり 8.5 人以上の利用を達成することができた。

・理学療法士、作業療法士と連携し機能訓練の取り組みが定着した。

12)ケアプランセンターみなくちみんなの家

・地域のサロンに参加し、予防サービスをご利用の方々とも交流することができた。

13)ぼだいじ訪問看護ステーション

・訪問件数は年間 7000 件を超え、過去最高を記録した。

・ケアパレットを導入し、訪問、記録の効率化が図れた。

・新型コロナウィルス感染症予防対策に取り組み、職員指導が図れた。

14)デイケアの家おしどり

・定員を 18 名に増員し、ご利用者の増加とともに増収増益がはかれた。

・浴室の改修工事を行い、利用者、職員とも安心で快適な入浴環境が整備できた。

15)ゆめとまの家おしどり

・園芸リハビリを通じて介護職、看護職、リハビリ職との連携がはかれ、利用者増にも結び付いた。

・職員の福利厚生の一環として休憩室を新設し、職員のリフレッシュとともに働きやすい環境が整備できた。

16)総合事業ふれあいの家おしどり

・週 2 回の活動となり、理学療法士や作業療法士の専門的な知識を活動に加えることで、ご利用者の安心につながった。

17)総合事業ホームヘルパーステーション

・営業時間の明確化や提供範囲を限定することをケアマネに訴求し、ご利用者数の増加に結び付いた。

18)厨房

・管理栄養士 2 名体制が確立し、サービスの向上と収支改善への取り組みが図れた。